

GSM[®] 2017年3月号-1 観桜会

Green Speciality Mutuality

NEWS 3 vol.26



鶉工場 社屋からの望む桜

99本の桜 今年も染め抜く

岐阜の地の寒い冬を超え、温かい春の陽気が顔をのぞかせる頃、岐阜セラック製造所の鶉工場は鮮やかなピンク色に染まります。暦年にわたり鶉工場を囲うように植えられてきたソメイヨシノも今では99本。

近隣でも有名な桜の名所になりつつあります。

工場とは、時には騒音、臭気等、近隣の方々にはご迷惑をおかけする存在となり得ます。創業時も、現在の鶉工場も岐阜市内にかまえる当社にとって、それはかねてより大きな問題でした。

そんな中、心温かく受け入れてくださる近隣の皆様にも、少しでも感謝の思いと恩返しを届けたい。そんな我々の心を届ける存在、それが当社の桜です。

1年に1度きりではありますが、当社の桜が少しでも多くの方の心を癒すものになるようお願いを込め、毎年丁寧に世話をしています。

その甲斐もあってか、今では桜が満開の季節になると、社員以外の方も含め多くの方が足を運んでくださるようになりました。大通りに囲まれた土地に位置する当社の周辺は、毎日たくさんの方が通勤や通学のために行き交います。

「写真を撮ってもいいですか?」「毎年楽しみにしています」

社外の方からそう声をかけていただくたび、春の陽気のように心が温かくなります。中にはお子様の入学祝に、と記念撮影を希望された方もあり、わずかながら特別な思い出作りのお手伝いもできているのかもしれません。

今後もぜひより多くの方に当社の桜を見に来ていただきたいものです。



社内で お花見

桜を楽しむのはもちろん社外の方々だけではありません。社内においては「観桜会」と呼ばれる会を開き、年に一度のこの季節を大いに堪能しています。

観桜会とは毎年行われる行事のうちの一つで、桜が満開の時期に社員一同集まり、いつもよりも豪華な食事をする。いわゆるお花見のようなものです。

現在の鶉工場社屋が建設された昭和53年以降、毎年行われてきたこの伝統行事は、社員と社員をつなぐこと、日本の四季を実感すること、高く枝を伸ばす桜から当社の歴史を学ぶこと、様々な意味がこめられています。

また、かつて湿地帯だった土地に根を張り、しっかりと土地を支え、鶉工場を守ってくれているのも桜の樹です。自然の力の上に当社は成り立っています。桜が温かく見守る中、今年も楽しい時間となりました。



サンバードホールに集まりました。社員一同が

鶉工場

ソメイヨシノ(染井吉野)



日本で最もポピュラーな品種の桜。ニュースで伝える「桜の開花予想」の桜もソメイヨシノに当たる。もとはエドヒガンとオオシマザクラの雑種から生まれたクローン

池田白鳥工場

ヤマザクラ(山桜)



工場のある揖斐郡池田町の町の花。ソメイヨシノとは異なり、花と葉が同時期に芽吹くのが特徴。葉は赤茶色。日本の野生品種では代表的な桜で、和歌にも多く詠まれてきた。

ふたつの工場の桜



日本の伝統的な食事、いわゆる「和食」は二〇一三年十二月にユネスコの無形文化遺産に登録され、その独自の文化は世界的に認められています。

当社ではお客様のおもてなし、お茶の淹れ方から食事まで、そうした日本文化を取り入れた伝統的な方法を採用し、伝承を大切にしています。

これは社内行事も同じです。ゆえに観桜会のお弁当は、いつもより豪華なだけではない、それぞれに由来のあるメニューが並び、社員の皆様の健康と安全を祈る気持ちが含まれています。今回はその一部を紹介致します。

◎マーマレード

昨年より、地元の岐阜農林高等学校の皆様と共同で、池田白鳥工場で収穫できる夏みかんを使用した製品開発を進めて参りました。

この度3月を以て岐阜セラック夏みかんのマーマレードが完成したことを祝い、社員全員に1つずつ、このマーマレードが配られました。

◎おはぎ

小豆には赤飯同様、小豆の赤色から魔除けの力があると信じられてきました。その小豆を使用した「あんこ」は必ず祝の席で神様に捧げられてきたのです。

また「おはぎ」とは小豆の粒に似た秋の七草「萩の花」から名をとり、あんこで包んだお餅を「萩餅」と呼んだことに由来します。

◎牛乳・ヨーグルト

当社では独自の福利厚生として、毎日希望者には牛乳とヨーグルトの半額支給を行っています。

創業当時から唱えられる標語のひとつにも「飲め飲め牛乳、やめやめ煙草」という言葉があり、健康に害になるものの排除、良いものの励行をしています。

以来、こうした社員行事のお弁当にも、必ずこの二つが並んでいます。



◎赤飯

古来より赤色には魔除けの力があると信じられてきました。鳥居や神社等で赤色をよく見かけるのはそのためです。

赤色に染まるごはん、赤飯にもその認識が影響し、祝いの席で振る舞うことにより、健康、安全等が祈られたと考えられています。

◎三色団子

三色団子の色は上から、赤（桜色）、白、緑の順になるのがほとんどで、その三色は季節を表しています。赤は桜色、または太陽の色で春を、白は雪で冬を、緑は新緑で夏と表現しています。あえて秋がないのは「秋がない」＝「あきない」で、食べ「飽きない」という意味だそうです。

これに加え、桜が咲く順序を表わしている、とも言われています。赤いつぼみがついた後に、白い桜の花が咲き、散った後は緑の葉が成長する。まさに桜の季節にふさわしい食べ物です。

当社においては、創業の精神、社是、理念等の伝承を、重要な教育の一環として捉えております。創業七十年、時代の流れについていくための革新と、守らなくてはならない歴史の融合が求められる時期です。これは日本文化も同じこと。

グローバル化の進む現代において、いかに日本のアイデンティティを守り、強みにしていくかが問われる中で、身近で日本文化を学べるのも当社ならではの良いところだと感じました。

